

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒150-6019
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
 氏 名 日油株式会社代表取締役社長 小林明治
 (代理人) 川崎事業所長 吉澤文彦 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日油株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区千鳥町3番3号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	化学工業製品、食用加工油脂製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	14,360	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境安全管理室
		所在地	神奈川県川崎市川崎区千鳥町3番3号
		電話番号	044-288-2372
		FAX番号	044-288-7954
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成26年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおりです。
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおりです。
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおりです。
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおりです。
備考	日油株式会社の地球温暖化対策の取組みにつきましては、ホームページにて公表しています。 http://www.nof.co.jp/environment/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 25,966 t-CO ₂ (調) 25,944	(実) 25,959 t-CO ₂ (調) 25,937	(実) 27,242 t-CO ₂ (調) 27,219	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 26,769 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 0.0 % (調) 0.0	(実) -4.9 % (調) -4.9	(実) % (調)	(実) -3.1 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.2073	0.2034	0.2072		0.1989
削減率		1.9 %	0.0 %	%	4.1 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	事業活動における生産プロセスの見直し及び川崎スチームネット株式会社から購入している省エネルギー性に優れた蒸気の有効活用等を推進した結果、生産数量の増加に伴う温室効果ガス排出量の増加を前年と同レベルに抑制することができました。また、原単位（生産数量）に関しても約2%の改善を図ることができました。
第2年度	事業活動における生産プロセスの見直し及び川崎スチームネット株式会社から購入している省エネルギー性に優れた蒸気の有効活用等各施策を実施したが、生産数量の増加、特にエネルギー多消費タイプ製品の生産が増加したことにより、温室効果ガス排出量は約5%増加しました。また、原単位（生産数量）に関しては基準年度と同レベルとなりました。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--	--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	<p>温室効果ガスの排出量削減のための措置について、以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を解析し生産工程プロセスの改善を図ります。 ○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 蒸気の使用における温度、圧力等の適切な管理を実施します。 ○熱利用設備に係る断熱の保安全管理 蒸気配管における断熱の保守、点検を強化、推進します。 ○スチームトラップの保安全管理強化 スチームトラップの定期的な保守、点検を強化、推進します。 ○蒸気ドレンの廃熱回収の管理 蒸気ドレンの廃熱の有効活用を実施します。 ○空気調和設備の効率管理 外気条件の変動に応じた各種設定を見直し、空気調和設備の総合的なエネルギー効率の向上を図ります。 ○冷凍機の効率管理 冷凍機の成績係数(COP)の適正管理及び冷水出口温度、冷却水入口温度の適正管理を実施します。 ○その他の電気の使用に係る管理 電気使用設備毎の電気損失の低減を検討します。 ○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に合わせた節電型ランプへの変更を推進します。 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 各種プロセスにて効果的な省エネルギー対策を検討、実施していきます。 ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 川崎スチームネット株式会社から省エネルギー性に優れCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に活用します。
	第1年度	<p>温室効果ガスの排出量削減のために以下の措置を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を解析し、生産工程プロセスの改善を図りました。 ○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 蒸気の使用において、温度、圧力の適切な管理を図りました。 ○熱利用設備に係る断熱の保安全管理 熱利用設備(蒸気)に係る配管等の一部について、断熱措置の保守、点検を推進しました。 ○スチームトラップの保安全管理強化 スチームトラップの一部について、定期的な保守、点検を推進しました。 ○その他の電気の使用に係る管理 電気使用設備(ボイラー)の電気損失の低減を図りました。 ○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に合わせて、節電型ランプへの変更を推進しました。 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 事業活動のプロセスにおいて、効果的な省エネルギー対策を実施しました。 ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 川崎スチームネット株式会社から省エネルギー性に優れCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に活用しました。

	<p>第2年度</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減のために以下の措置を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を解析し、生産工程プロセスの改善を継続して図りました。 ○熱利用設備に係る断熱の保全管理 熱利用設備（蒸気）に係る配管等の一部について、断熱措置の保守、点検を推進しました。 ○スチームトラップの保全管理強化 スチームトラップの一部について、定期的な保守、点検を推進しました。 ○蒸気ドレンの廃熱回収の管理 蒸気ドレンの廃熱の有効活用を図りました。 ○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に合わせて、節電型ランプへの変更を継続して推進しました。 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 事業活動のプロセスにおいて、効果的な省エネルギー対策を実施しました。 ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 川崎スチームネット株式会社から省エネルギー性に優れCO2排出係数の低い蒸気を購入し効果的に活用しました。
	<p>第3年度</p>	
<p>自動車等 (第3号該当者等)</p>	<p>計 画</p>	
	<p>第1年度</p>	
	<p>第2年度</p>	
	<p>第3年度</p>	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを実施しています。 ○廃棄物の減量化、分別化を推進しています。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）を推進しています。 ○モーダルシフトを推進しています。
第1年度	その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを行いました。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）の推進を図りました。 ○モーダルシフトの推進を図りました。
第2年度	その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを行いました。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）の推進を図りました。 ○モーダルシフトの推進を図りました。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	28,758	t-CO ₂
(調)	28,551	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日油株式会社 川崎事業所	川崎市川崎区千鳥町3番3号	1632	脂肪族系中間物製造業	28,758 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--